

# 長野県『外国人材受入企業マッチング支援デスク』 新サイト公開を告知

25.06.06

「外国人材受入企業マッチング支援デスク」新サイト公開のお知らせ  
このたび、「外国人材受入企業マッチング支援デスク」のホームページをリ  
ニューアルし、2025年度版の新サイトとして公開いたしました。

本サイトでは、外国人材の受入れを検討する長野県内の企業の皆さまと、  
働きたい外国人材との円滑なマッチングをサポートする情報をより見やすく、  
使いやすくお届けできるよう構成を刷新しております。

出典：<https://nagano-gaikokujinzai.com/%E6%94%AF%E6%8F%B4%E3%82%BB%E3%83%9F%E3%83%8A%E3%83%BC%E3%80%8C%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E6%9D%90%E9%9B%87%E7%94%A8%E6%B3%95%E3%81%A8%E6%9C%80%E6%96%B0%E5%88%B6%E5%BA%A6%E3%82%92%E7%9F%A5/>



# Gaikokujin Press :

## 『信州サイクル』 特定技能の季節型就労を特集

25.06.06

夏は農家、冬はスキー場で活躍！「信州サイクル」とは？

「信州サイクル」とは、特定技能の在留資格を持つ外国人が、夏場は長野県の農家で働き、冬場は県内のスキー場で働くという、季節に応じた働き方を実現する取り組みです。具体的には、夏には高原野菜やイチゴ栽培などの農業に従事し、冬には「外食業」の特定技能を活用して、スキー場のホテルで接客などの業務を行うというもの。

これまで、特定技能の在留資格は特定の産業分野に限定されていましたが、この「信州サイクル」は、異なる分野を季節で跨ぐという、新しい働き方を提案しています。

「特定技能」の新たな可能性を切り拓くか？長野発「信州サイクル」という働き方を徹底解剖！



出典 : <https://www.gaikokujin-press.com/archives/546>

# 信州大学：留JOB信州プログラムガイダンス (留学生向け就職支援) を実施

25.06.24

「将来は日本で働きたい！」と考えている留学生を集め、留JOB信州プログラムガイダンスを開催しました。

当日は、プログラムの最新イベントスケジュールやプログラム修了について、担当教員の三上先生から説明をし、後半は、株式会社オリジネーターの講師から『就活の基礎知識』として、就職活動のスケジュール、日本語力、企業研究、自己分析を中心に解説していただきました。

参加した留学生からは、「日本での就職活動がよくわからなかったなので、今回のガイダンスに参加して理解できました。」との感想をいただきました。

留JOB  
SHINSHU UNIVERSITY



## 1. 留JOB信州の構成

「留JOB信州」には3つの支援がある。

- ① キャリア教育
- ② インターンシップ教育
- ③ ビジネス日本語

# ハケ岳ワールドもちつき祭2025に参加しました

2025.12.08

JICA長野県OB会が、南牧村で研修する技能実習生に日本での思い出作りをと働き掛けて今年で4年目の開催、技能実習生、受入農家、JICA東京、南牧村など総勢160名余の参加のもと、活気と笑顔あふれる素晴らしいイベントでした。恒例のもちつきに始まり、ポッチャ大会、風船アート、紙飛行機飛ばし、習字コーナーなど趣向を凝らし、今年はプロジェクトX風のナレーションから始まるマツケンサンバで盛り上がりました。



# 長野びんずるに参加しました！

2025.08.03



今回、長野県に暮らす技能実習生、留学生、そしてベトナム人家族から構成されたベトナム人コミュニティによる独自の踊り連が、この祭りに参加したのは今回が初めてです。また、ベトナム人の踊り連がこの祭りに参加する初めての外国人踊り連でもあります。この参加は、長野県を含め、日本の伝統文化への理解と尊重、そして日本社会との融合を深めることに対する日本在住ベトナム人コミュニティの取り組みを表すものです。びんずる祭りは今年で第55回を迎え、例年どおり8月の第1土曜日に開催されました。全国各地から120以上の踊り連、およそ5500人が参加しました。

出典：<https://vovworld.vn/ja-JP/>

# 外国人の暮らしを支える環境整備は責務 知事会長、長野県の阿部知事 3 分野で政策を検討

2025.11.08

今年、任期 2 年の全国知事会長に就任した阿部守一長野県知事。県に外国人との共生を推進する体制を整備してきた。地方の実情を知る立場から人口減少への懸念と、共生への課題を聞いた。 —人口減の切迫感は。「極めて深刻だ。経済で言えば、働き手が少なくなり事業ができなくなっている。町内会など地域コミュニティーの活力も低下してしまう。現役世代が支えている年金制度も持続可能性に疑問が出かねない状況だ。人口減の背景には、将来に夢や希望を持ちづらい社会環境も影響している」



インタビューに答える阿部守一長野県知事

# 罰金制度に赤い帽子着用..... 「レタス王国」を支える外国人実習生が強制される“謎ルール”

2025.09.02

病死、餓死、自殺が相次ぐ「入管」、**“現代の奴隷制”**といわれる「技能実習制度」——。日本社会における外国人差別の現状に迫った『外国人差別の現場』「外国人実習生の労働力がなければ、とてもじゃないが農家経営などやっていけない」そう訴えたのは長野県川上村のレタス農家だった。川上村は日本一のレタス出荷量を誇る「レタス王国」として知られる。同時に全国でも有数の**“国際化”**自治体だ。レタスの出荷がピークとなる夏場は、村内人口の実に4人に1人が外国人実習生によって占められる。

「研修規則」には実際に、〈自転車に乗ったら2000円〉〈飲酒やけんかは3000円〉といった罰金額が明記されていた。取材した実習生からは「残業代が未払い」という証言もあった。その後、監理団体も替わり、村も労働環境を厳しく監視するようになった。班長制度や外出時の帽子着用義務も撤廃された。



# 川上村、外国人住民が10年で2倍以上に 9割以上の農家が実習生受け入れ

2025.11.23

2025年1月時点で、10年間の外国人住民増加率が267・7%となった南佐久郡川上村。冷涼な気候を生かした農業が基幹産業で、レタスなどの高原野菜の栽培が盛んだ。後継者不足などで農家数はわずかに減っているが、外国人労働者の採用は増加している



八ヶ岳を背景に広がる川上村のレタス畑(資料写真)

# ベトナムが長野県の2社を表彰 ベトナム人労働者の働きやすい環境整備

2025.12.23

2025年11月、ベトナム駐日大使館と内務省は「第2回ベトナム労働者の日」イベントにて、長野県内でベトナム人労働者の環境整備に尽力した企業2社を表彰しました。受託給食のデリクックちくま（長野市）などが選ばれ、安心して働ける環境や両国関係への貢献が評価されました

表彰企業: デリクックちくま（長野市）を含む

表彰式: 2025年11月30日、ベトナム駐日大使館・内務省主催「第2回ベトナム労働者の日」にて

評価ポイント: ベトナム人労働者にとって働きやすい環境整備（安心・安全な実習環境）と、日越間の友好・両国関係の発展への寄与



# 冬に急増 長野県の国際的リゾート地で働く 外国人 住民に占める割合は1割超に

2025.11.03

県内で外国人住民の割合が10%を超えた白馬村と小谷村、野沢温泉村はいずれもスキー場を抱えスノーリゾートとして国際的に知られる。訪日客向けのホテルや飲食店などが冬季にこれらで働きながら、スキーやスノーボードを楽しむ外国人が増えている



観光客らが行き交う野沢温泉村の温泉街＝2024年

# 長野県に住む外国人の国民健康保険 「不正事案ない」 県が説明

2025.10.02

長野県内の外国人による国民健康保険の不正受給事案は確認されていないと、県が説明しました。外国人の国保加入は法に基づき適切に行われており、実態として、外国人の医療費負担や給付率は日本人と比べて低く、財政を圧迫している事実は認められない状況です。

